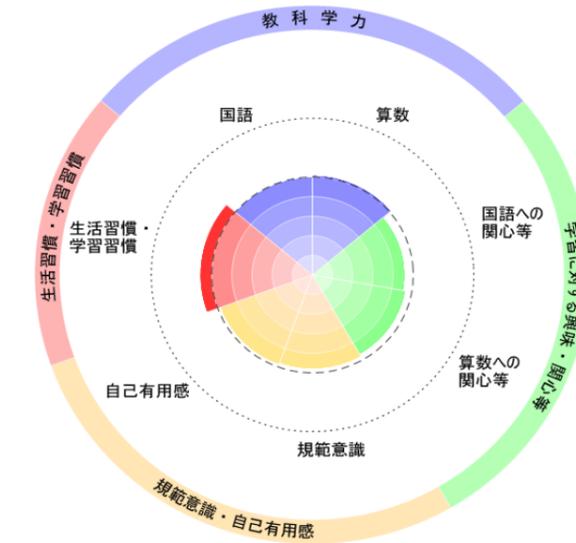


(1)学力調査結果から見られた傾向

| | 成果と課題(○:成果, ●:課題) | 対策 |
|----|---|---|
| 国語 | ○昨年度課題としてあがっていた「読むこと」の領域が全国、県より2.6ポイント上回っていて、丁寧に学習に取り組んできた成果が表れている。 ○説明文を読み取る力がついてきている。 ●記述問題の無回答が多く、条件に合わせて書くことが苦手である。 ●後半の問題に無回答が多いことから、時間内に読んだり書いたりすることが難しい児童がいる。 | ・新聞記事プリントなどを利用して、要約したり、条件をつけて自分の考えを書いたりする力をつけていく。 ・読書に集中する時間を確保して、速読の力をつけていく。 |
| 算数 | ○全国や島根県の平均をやや上回り、平均を大きく下回る問題はないことから、平均的に力をつけてきていることがうかがえる。 ○思考力、判断力を必要とする問題がよくできている。 ●筋道をたてて、論理的に説明する力にやや課題が見られる。 ●計算の順序、小数の計算、グラフの意味等の理解がやや難しい。 | ・問題を読み取り、理解する力を付けるために、問題文に線を引いたり、図示したりして、内容を整理できるようにする。 ・単純な立式により答えを求めただけでなく、式変形ができる力や、式の意味を捉え、説明できる力を付ける。 |

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



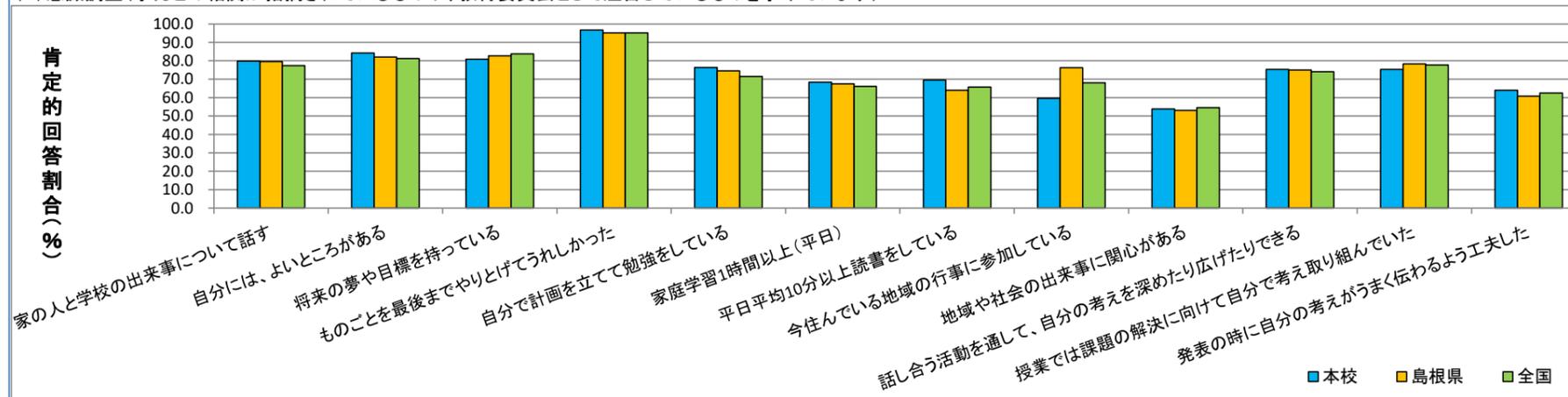
(2)生活意識調査から見られた傾向

| | 成果と課題(○:成果, ●:課題) | 対策 |
|--|---|--|
| | ○朝食を毎日食べていたり、自分で計画を立てて勉強していたりと、基本的な生活習慣や家庭学習の習慣が概ね身についている。 ○コンピュータなどのICTに対する意欲が高い。 ●読書の時間が少なく、また、読書が好きでないと思っている児童もいる。 ●話し合いによって考えを深めたり、問題を解決したりする良さを感じている児童が少ない。 | ・読書時間を確保するとともに、身近に本(子ども新聞)などを置いたり、学習関連の本を積極的に紹介したりする。 ・授業中での話し合いや、学級会等を多く経験できるようにし、話し合いによって自分の考えが深まったり、みんなで問題を解決できる喜びが感じられるようにする。 |

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

| |
|--|
| ・自分の考えを相手に伝わる声や話し方で、話す力をつける。(話型を示す) |
| ・全学年で学年相応の読書ができるように読書指導を継続したり、図書館利用を促進したりする。 |

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

| | 本校 | 松江市 | 島根県 | 全国 |
|----|----|-----|-----|------|
| 国語 | 63 | 63 | 62 | 63.8 |
| 算数 | 66 | 66 | 65 | 66.6 |

受検者数 87人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。